

2020年11月6日

株式会社みずほフィナンシャルグループ  
株式会社みずほ銀行  
みずほ信託銀行株式会社  
みずほ証券株式会社

## 大手町・丸の内エリアへの本部機能の集約について

～グループ一体でのビジネス推進体制の強化と〈みずほ〉の「新しい働き方」への挑戦～

株式会社みずほフィナンシャルグループ(執行役社長:坂井 辰史)、株式会社みずほ銀行(頭取:藤原 弘治)、みずほ信託銀行株式会社(取締役社長:梅田 圭)、およびみずほ証券株式会社(取締役社長:飯田 浩一)は、みずほ丸の内タワー(東京都千代田区丸の内 1-3-3)の竣工に伴い、各社の本部機能を大手町・丸の内エリアに集約します。

本部機能の集約により、今まで以上にグループ一体でのビジネス推進体制を強化していきます。また、社員一人ひとりが生き活きと働き、成長し続けるとともに、これまでにないアイデアやひらめきなどの「新たな価値」を創造し続けるワークプレイスを整備し、〈みずほ〉の新しい働き方を実現していきます。

“新しいワークプレイス×新しい働き方”により、社員一人ひとりが生き活きと働く魅力ある企業として成長していくとともに、これまで以上に新しい価値を創造し、「次世代金融への転換」をさらに加速していきます。

### 1. グループ一体でのビジネス推進体制の強化

- ・ このたび竣工したみずほ丸の内タワーにお客さま対応機能を、みずほフィナンシャルグループ本社が所在する大手町タワー(東京都千代田区大手町 1-5-5)に経営管理機能を集約します。
- ・ 〈みずほ〉の強みである銀行・信託・証券間のグループ連携をより一層強化し、ビジネス戦略を今まで以上にグループ一体かつスピード感をもって策定・実行していく体制を構築していきます。

## 2. <みずほ>の新しい働き方への取り組み

- ・ <みずほ>は、場所や曜日・時間にとらわれない柔軟な働き方を通じて、仕事の生産性・企業活力を高める「新しい働き方」への取り組みを開始しました。
- ・ 「新しい働き方」は、コロナ禍を契機に”働く”ことの意味を改めて見直し、社員一人ひとりが自ら働き方をデザインするとともに、リアルとリモート双方の手段を駆使しコミュニケーションの質・量・スピードを向上させることで、<みずほ>が「5ヵ年経営計画～次世代金融への転換」で掲げる 2 つの行動軸「オープン&コネク」 「熱意と専門性」を、会社と社員が一丸となって実現していく<みずほ>の新たな挑戦です。

### <みずほ>の「新しい働き方」

場所や曜日・時間にとらわれない柔軟な働き方を通じて、仕事の生産性・企業活力を高める

- 社員一人ひとりが自ら働き方をデザイン
- リアル/リモート双方の手段を駆使し、コミュニケーションの質・量・スピードを向上

#### ○ リモートワーク・サテライトオフィス

本社に勤務する社員の25%がリモートワークで業務を行う体制を恒常化します。

また、「オフィス」「自宅」に次ぐサードプレイスとしてのサテライトオフィスを20年度中に首都圏に9ヵ所開設し、更に将来的に拠点数を増やすことを計画しております。

こうした環境の整備を通じ、会社全体でリモートワークへのシフトを加速していきます。

#### ○ 時差勤務

お客さまの行動にあわせた働き方や社員それぞれの生活スタイルにあわせた働き方を可能とする時差勤務を積極的に活用していきます。

#### ○ フレックスタイム制の拡大／週休3日・4日制の導入

社員が自ら働き方をデザインし、モチベーション高く働いていけるよう、働き方の選択肢を拡充するべく、本年 11 月からフレックスタイム制の適用者を拡大します。また、本年 12 月には組合との協議を前提に、本人希望による週休 3 日・4 日制を導入します。これにより、多様な働き方を可能とし、様々な価値観を持つ社員が活躍できる会社にしていきます。

#### ○ ICT活用

PC・タブレット・スマホなど業務に応じたデバイスを拡充していきます。また、オンラインのコラボレーションプラットフォームを、20年度中にグループベースで導入していきます。これにより、リアルとリモートを組み合わせながら、より価値の高いサービスの提供や社内コミュニケーションの向上を目指していきます。

### 3. 〈みずほ〉の新しいワークプレイス

- ・ 今回の本部機能の集約に伴い、みずほ丸の内タワーと大手町タワーのワークプレイスを整備します。

#### 〈みずほ〉のワークプレイスの基本コンセプト

- ・ **社員の自律的な働き方をサポート**
  - － 社員の「自ら働き方をデザインする」という行動様式を、働く”場”を通じて後押しする
- ・ **社内外の知の繋ぎ合わせ**
  - － オフィスワークにおいて求められるリアルコミュニケーションの価値を最大化する

ロケーションフリーオフィスとすることで、以下の空間機能を提供し、ワークプレイスの基本コンセプトを実現する



#### ○ グループアドレスの導入

全館内無線LAN対応等によりロケーションフリーオフィスを実現することで、業務内容に合わせて自由に席替えが可能となるグループアドレスを導入します。

その日の業務内容に合わせた場所で業務を行うことで、協働するメンバーとのコミュニケーションの活性化や生産性の向上、業務の効率化を実現します。

また、グループアドレス導入を前提に、ペーパーレス化にも着手し、紙で保管していた資料を本部機能集約前と比較して約7割削減しました。

#### ○ ワークスタイルに合わせた多様なオフィス空間

「偶然の出会い」「対面コミュニケーション」といった、コロナ禍で再認識したオフィスワークならではの“得られる価値”を最大化するための協業スペースや、ソロワークやリフレッシュといった社員の生産性を高める空間を提供します。

社員一人ひとりが生き生きと働き成長できる環境を整えるとともに、社内外の知を繋ぎ合わせる空間を提供することを通じて、社員の「新しい働き方」への取り組みを支えていきます。

【みずほ丸の内タワー 外観】



【大手町タワー 外観】



【新しいワークプレイス(みずほ丸の内タワー)】

ワンみずほ  
コラボレーション  
スペース

**One MIZUHO  
COLLABORATION  
SPACE**

社外のお客さまも遭遇可能  
グループ内外のリソースを繋ぐスペース  
(執務室各フロア毎に設置)

キャレル  
**CARREL**

静寂な環境で、一人で深く  
考えるためのソロウキングスペース

テラス  
**TERRACE**

グループ社員が  
ナレッジ共有・協働する共創スペース

ミライズ  
**MIRAI**

・お客さま/グループ役員が集い、「偶発的な出会い」と  
「コラボレーション」を通じて新たな価値創造を発信するスペース  
(2F共用部に設置)

リフレッシュ  
ルーム  
**REFRESH  
ROOM**

会話による発想の転換や  
休憩等、心身の切替を促すスペース  
(執務室各フロア毎に上記のいずれかを設置)

以上

